

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-329116
(P2002-329116A)

(43) 公開日 平成14年11月15日 (2002. 11. 15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6	5 B 0 7 5
	3 1 6		3 1 6	5 B 0 8 5
	3 3 2		3 3 2	5 E 5 0 1
	5 0 6		5 0 6	
3/00	6 5 7	3/00	6 5 7 A	
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願2001-129813 (P2001-129813)

(22) 出願日 平成13年4月26日 (2001. 4. 26)

(71) 出願人 000004329

日本ビクター株式会社
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番
地

(72) 発明者 和田 祐 司

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番
地 日本ビクター株式会社内

(74) 代理人 100075812

弁理士 吉武 賢次 (外4名)

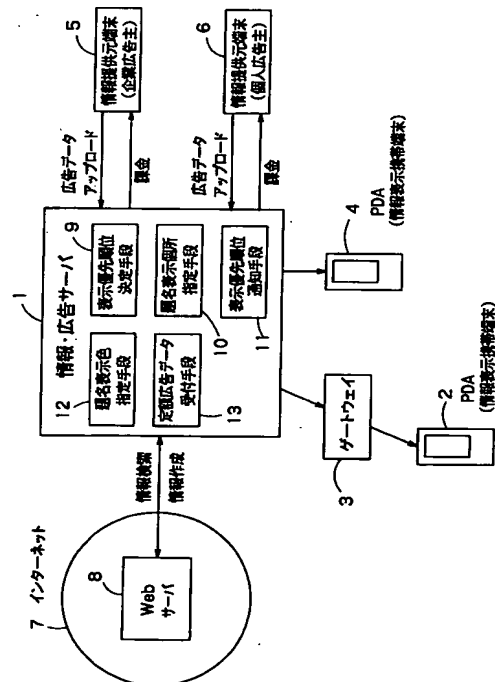
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報表示携帯端末システム

(57) 【要約】

【課題】 情報表示携帯端末の表示画面における広告情報の題名又はアイコンの表示優先順位の決定の仕方について、多くの広告主が納得し得る基準を採用したシステムを提供すること。

【解決手段】 情報・広告サーバ1の表示優先順位決定手段9は、情報提供元端末5、6から提示されてきた広告掲載料の金額にいうて表示優先順位を決定する。題名表示箇所指定手段10は、この決定した優先順位に基づきメニュー画面上における登録広告データの題名又はアイコンの表示箇所を指定する。表示優先順位通知手段11は、決定した表示優先順位を情報提供元端末5、6に通知する。この順位に不満がある広告主は、広告掲載料を再提示することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報表示携帯端末及び情報提供元端末が通信網を介して情報・広告サーバに接続されており、情報・広告サーバは情報提供元端末から送られてくる広告データを登録し、情報表示携帯端末は情報・広告サーバにアクセスして登録広告データを自己の画面に表示させることが可能な情報表示携帯端末システムにおいて、前記情報・広告サーバは、

広告データを送ってきた前記情報提供元端末が複数ある場合に、前記各情報提供元端末が提示した広告掲載料に基づき前記各登録広告データの表示優先順位を決定する表示優先順位決定手段と、

前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位に基づき、前記情報表示携帯端末のメニュー画面上における前記各登録広告データの題名又はアイコンの表示個所を指定する題名表示個所指定手段と、

前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位を、広告データを送ってきた前記情報提供元端末に通知する表示優先順位通知手段と、

を備えたことを特徴とする情報表示携帯端末システム。

【請求項2】 前記表示優先順位決定手段は、前記広告掲載料の再提示を行った情報提供元端末が有る場合に、再度新たな表示優先順位を決定するものである、ことを特徴とする請求項1記載の情報表示携帯端末システム。

【請求項3】 前記情報・広告サーバは、前記各広告データの題名又はアイコンの表示色を広告データの種別に応じて指定する題名表示色指定手段を、備えたことを特徴とする請求項1又は2記載の情報表示携帯端末システム。

【請求項4】 前記情報・広告サーバは、前記情報提供元端末から広告掲載料が定額の広告データの申込みを受け付ける定額広告データ受付手段を備えており、前記表示優先順位決定手段は、前記定額広告データ受付手段が受け付けた広告データについては、所定の基準に基づき表示優先順位を決定するものである、ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の情報表示携帯端末システム。

【請求項5】 前記情報表示携帯端末は、前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位、及び前記題名表示個所指定手段が指定した表示個所を、ユーザが指定して趣味嗜好に基づき変更する趣味嗜好フィルタ手段を有するものである、ことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の情報表示携帯端末システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯電話やPDA (Personal Digital Assistant) 及びPCなどの情報表示

携帯端末に各種の情報や広告についての表示データを提供する情報表示携帯端末システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近時のデジタル技術の進歩、及び携帯の利便性に基づく人気とが相まって、最近では携帯電話やPDAなどの情報表示携帯端末が急速に普及してきている。これらの情報表示携帯端末は公衆電話回線を介して他の端末と通信することが可能であり、公衆電話回線を介して得られる情報（例えば、メール情報）やユーザ個人のスケジュール情報などを画面に表示できるようになっている。また、近時はインターネットやパソコン通信等のネットワークも急速に普及してきており、情報表示携帯端末はこれらのネットワークから取得した種々の情報についても画面に表示することができるようになってきている。

【0003】 情報表示携帯端末の持ち主であるユーザがこれらの情報の内容を画面に表示する場合、通常は、メニュー画面に表れるこれらの情報についての題名部分をクリック（又は、タップ）操作して行うようになっている。但し、情報表示携帯端末の表示画面は小さなものであるため、情報数が多い場合には1つの画面中に全ての題名を表示することができない場合がしばしばある。通常このような場合は、1つの画面中にいくつかの題名と、「その他」と書かれた1つのアイコンとが表示されるようになっており、このアイコンをユーザがクリックすると、その画面に入りきらなかった題名が別の画面として表示されるようになっている。したがって、ユーザは全ての情報の題名を検索することができ、所望の情報の内容を画面に表示させることができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、近時のインターネットの急速な普及に伴って、所謂ビジネスモデル市場も急成長してきており、インターネットなどの各種ネットワークでは多くの広告情報が飛び交っている。そして、情報表示携帯端末には、当然のことながら、これらの広告情報も表示されることになる。

【0005】 しかし、上述したように、情報表示携帯端末の表示画面は小さなものであるために表示し得る題名数は限られており、更に、情報表示携帯端末ではユーザの個人情報についての題名を優先してメニュー画面に表示させるようにしているので、多くの広告情報の題名はメニュー画面中には表示されず、ユーザが「その他」のアイコンをクリックしたときに初めてその広告情報の存在が知られることになる。

【0006】 したがって、ユーザが「その他」のアイコンをクリック操作しない場合には、広告主が折角作成した広告情報も日の目を見ないことになる。つまり、情報表示携帯端末の表示画面においては、アプリケーション起動時の最初の表示画面であるメニュー画面中に広告情報の題名が表示されるか否かは広告効果に大きな差異を

もたらしことになる。更に、メニュー画面中に題名が表示される広告情報であっても、第1位の順位として表示された場合と第2位の順位として表示された場合とでは、その広告内容を実際にユーザに見て貰う確率は大きく異なっている。同様に、「その他」のアイコンのクリック操作により別画面でしか題名が表示されない広告情報についても、順位が高いものと低いものとの間では、その広告内容を実際にユーザに見て貰う確率は大きく異なっている。

【0007】このように、情報表示携帯端末の表示画面において、広告情報の題名の表示優先順位は広告効果に大きな影響をもたらすことになるが、従来の情報表示携帯端末システムでは、この表示優先順位についてそれほど深刻に考えられておらず、単に、広告申込みの先着順あるいは広告サービス管理会社等の特定の基準に従って安易に決定されていた。そのため、表示優先順位の低い広告主は少なからず不満を抱いていたのが実情であった。

【0008】本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、多くの広告主が納得し得る合理的な基準により広告情報の題名についての表示優先順位を決定することが可能な情報表示携帯端末システムを提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための手段として、請求項1記載の発明は、情報表示携帯端末及び情報提供元端末が通信網を介して情報・広告サーバに接続されており、情報・広告サーバは情報提供元端末から送られてくる広告データを登録し、情報表示携帯端末は情報・広告サーバにアクセスして登録広告データを自己の画面に表示させることが可能な情報表示携帯端末システムにおいて、前記情報・広告サーバは、広告データを送ってきた前記情報提供元端末が複数ある場合に、前記各情報提供元端末が提示した広告掲載料に基づき前記各登録広告データの表示優先順位を決定する表示優先順位決定手段と、前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位に基づき、前記情報表示携帯端末のメニュー画面上における各登録広告データの題名又はアイコンの表示個所を指定する題名表示個所指定手段と、前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位を、広告データを送ってきた前記情報提供元端末に通知する表示優先順位通知手段と、を備えたことを特徴とする。

【0010】請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、前記表示優先順位決定手段は、前記広告掲載料の再提示を行った情報提供元端末が有る場合に、再度新たな表示優先順位を決定するものである、ことを特徴とする。

【0011】請求項3記載の発明は、請求項1又は2記載の発明において、前記情報・広告サーバは、前記各広告データの題名又はアイコンの表示色を広告データの種

類に応じて指定する題名表示色指定手段を、備えたことを特徴とする。

【0012】請求項4記載の発明は、請求項1乃至3のいずれかに記載の発明において、前記情報・広告サーバは、前記情報提供元端末から広告掲載料が定額の広告データの申込みを受け付ける定額広告データ受付手段を備えており、前記表示優先順位決定手段は、前記定額広告データ受付手段が受け付けた広告データについては、所定の基準に基づき表示優先順位を決定するものである、ことを特徴とする。

【0013】請求項5記載の発明は、請求項1乃至4のいずれかに記載の発明において、前記情報表示携帯端末は、前記表示優先順位決定手段が決定した表示優先順位、及び前記題名表示個所指定手段が指定した表示個所を、ユーザが指定して趣味嗜好に基づき変更する趣味嗜好フィルタ手段を有するものである、ことを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図に基づき説明する。図1は、本発明の実施形態に係る情報表示携帯端末システムの概略構成図である。この図において、情報・広告サーバ1（本実施形態では広告サービス管理会社が所有しているものとする）は、情報表示携帯端末としてのPDA2、4と公衆電話回線を介して接続されており、広告データを含む種々の表示データをこれらPDA2、4側に送信するようになっている。ここで、PDA2はホームサーバとして機能するゲートウェイ3を介して情報・広告サーバ1に接続されている。このゲートウェイ3は、ユーザの自宅に設置されているものであり、自宅に居るユーザは、情報・広告サーバ1からゲートウェイ3に送信され蓄積された情報をPDA2の画面に表示させることができる。これに対し、PDA4の方はゲートウェイ3が接続されていないが、これは現在ユーザがPDA4を携帯して外出中である状態を示している。したがって、PDA4を携帯して外出しているユーザが、このPDA4を公衆電話回線に接続していない状態では、情報・広告サーバ1からPDA4に対して情報を送信できないことになる。

【0015】情報・広告サーバ1は、また、公衆電話回線を介して企業広告主や個人広告主が所有している情報提供元端末（通常は、パーソナル・コンピュータ）5、6に接続されている。そして、PDA2、4の画面に広告表示させることを希望する広告主は、情報提供元端末5、6から自己の作成した広告データを情報・広告サーバ1にアップロードできるようになっている。情報・広告サーバ1では、この広告データを登録後にPDA2、4側へ送信し、その後に情報提供元端末5、6に対する課金を行うようになっている。なお、本発明における「広告データ」とは、企業が各種商品や各種サービスについて営利を目的として紹介を行う通常の広告データの他

に、個人が第三者に対して送る営利的又は非営利的なメッセージや論文等も広く含むものとする。

【0016】情報・広告サーバ1は、更に、インターネット7上のWebサーバ8にも接続されており、種々の情報を検索する機能や、この検索結果に基づき種々の情報を作成する機能も有している。そして、情報・広告サーバ1は、広告データの他に、このようにインターネット7上から取得した各種の情報をPDA2、4に表示させることができるようになっている。

【0017】情報・広告サーバ1は、表示優先順位決定手段9、題名表示個所指定手段10、表示優先順位通知手段11、題名表示色指定手段12、及び定額広告データ受付手段13を含んで構成されている。表示優先順位決定手段9は、情報提供元端末5、6が広告データをアップロードする際に提示してきた広告掲載料の大小に応じて、各広告データの題名の表示優先順位を決定する手段である。つまり、本発明では、広告情報の題名の表示優先順位を決定する際に用いる合理的な基準として、広告主が自ら提示してきた広告掲載料を採用している。これは、一種の「競り」の原理に基づくものであり、価格競争を基本原理とする流通市場では、最も多くの広告主が納得すると考えられる基準である。

【0018】題名表示個所指定手段10は、表示優先順位決定手段9が決定した表示優先順位に基づき、PDA2、4のメニュー画面上における登録広告データの題名又はアイコンの表示個所を指定する手段である。表示優先順位通知手段11は、広告データをアップロードした情報提供元端末5、6側に表示優先順位決定手段9が決定した表示優先順位を通知する手段である。なお、本明細書における「メニュー画面」とは、広告データを含む各種の情報について、その詳しい内容が表示されている画面ではなく、題名又はアイコンのみが表示されている表示画面を指しており、必ずしもアプリケーションソフト上で命名されているメニュー画面とは一致するものではない。

【0019】題名表示色指定手段12は、情報の種類に応じてPDA2、4のメニュー画面に表示される題名又はアイコンの色を指定する手段である。例えば、ユーザの個人情報、インターネット7からの取得情報、広告主からの広告情報毎に異なる色を指定し、更に、広告情報についても、企業広告主からの広告情報と個人広告主からの広告情報とで異なる色を指定することができるようになっている。定額広告データ受付手段13は、広告掲載料を予め定められた一定額として広告主が広告依頼を申し込んできた広告データの受付を行う手段である。つまり、通常、広告主は広告情報の題名等の高い表示優先順位を取得することを欲するため、自己の経済事情を勘案してある程度高い広告掲載料を提示しようとするが、広告主の中には高い表示優先順位を取得することよりも広告掲載料をできるだけ低く抑えることを希望する者もい

る。定額広告データ受付手段13は、このような広告主の存在を考慮して設けたものである。

【0020】図2は、PDA2の外観形状及び表示画面の具体例を示した説明図である。PDA2は、電源ボタン14、決定ボタン15、及び十字キー16を有している。ユーザは、電源ボタン14を押して電源を入れ、表示された複数の情報のうち詳しい内容を表示させたい情報の位置まで十字キー16を用いてカーソル又はフォーカスを移動させた後、決定ボタン15を押してその情報の選択を行ってその詳しい内容を表示させることができる。なお、図示を省略してあるが、このPDA2は入力用ペンも備えており、この入力用ペンで詳しい内容を表示させたい情報の位置をタップすることにより、その情報の選択を行うこともできるようになっている。

【0021】図2の表示画面は、2001年1月第4週のカレンダにおけるスケジュールを表示したものである。この図に示すように、各曜日の欄にはユーザの個人情報（ユーザ自身が書き込んだ出張や会議の予定に関する情報）やリコメンド情報（CD発売日や各種イベント等に関する情報）についての題名が2段にわたって表示されており、2段目の右側寄りにはその他の情報の存在を示すアイコンが表示されている。なお、表示画面上部左側に「C」と書かれているボタンは、図示されたようなカレンダに対する設定、終了などのアプリケーションメニューを表示させるためのボタンであり、右側に「X」が書かれているボタンは、このカレンダの表示を終了させるためのボタンである。また、左向き矢印は2001年1月第4週以前のカレンダを表示させるためのボタンであり、右向き矢印は2001年1月第4週以後のカレンダを表示させるためのボタンである。

【0022】各題名の下側にはアンダーラインが付されているが、これはこの題名が表示されている部分がクリック可能であることを示しており、ユーザはこの部分をクリックすることにより、その題名に係る情報の詳しい内容を表示させることができる。

【0023】図2の画面の表示は表示優先順位決定手段9の決定、定額広告データ受付手段13の受付に基づき行われたものであり、各曜日の欄の第1段目に表示された題名の広告は、第2段目に表示された題名の広告よりも優先順位の高い広告である。例えば、23日及び25日の欄では、ユーザ個人の会議に関するスケジュール情報の題名が第1段目に表示され、ゲームやCDの発売日に関する情報が第2段目に表示されているが、これは情報の性質から言って当然のことである。なお、22日及び28日の欄の第2段目には、右側に「その他」のアイコンが表示されているにもかかわらず、第2段目には情報の題名が表示されていないが、これは第2段目に表示する情報が広告データ以外ではなく、その広告データも定額広告データ受付手段13が受け付けたものばかりだからである。

【0024】図2では、図示の都合上、識別可能な状態で示すことはできないが、実際には各情報の題名やアイコンは、題名表示色指定手段12の指定に基づいて色分け指定がなされている。例えば、22日、23日、25日の各第1段目の個人情報の題名はユーザの注意が喚起されやすい赤色で表示され、その他のリコメンド情報の題名は黒色で表示されている。

【0025】図3は、例えば、図2の26日の欄の第2段目に表示されている題名「歌手C握手会 渋谷109」の部分をクリックした場合に表示される画面の説明図である。この画面に示されているように、歌手Cの握手会に参加するために必要な詳しい情報が表示されており、さらに、アンダーラインが付されている部分をクリックすれば、歌手Cについてその他の情報を取得することができるようになってい

【0026】次に、本実施形態における広告データの表示優先順位の決定の仕方を図4乃至図6の表示画面例を参照しつつ具体的に説明する。この例では、広告サービス管理会社の情報・広告サーバ1に対して広告データの表示についての申込みを行う広告主がA、B、C、Dの4名であり、そのうちA、B、Cが企業広告主であり、Dが個人広告主であるものとする。

【0027】①現在の日付は2001年〇〇月××日とし、第1の段階では、未だPDA2、4に表示すべき情報は何もない。

【0028】②第2の段階では、情報・広告サーバ1がインターネット7上のWebサーバ8から情報を収集し、この収集した情報に基づき、PDA2、4に表示すべき情報1、2を作成する。但し、このように情報・広告サーバ1が自身の機能により作成した情報の表示優先順位は、登録された広告データが存在する場合には、常にこの登録広告データよりも下位にランクされるようになっている。

【0029】③第3の段階では、A社が情報3の広告表示につき広告掲載料10000円を提示し、情報・広告サーバ1はこの情報3を登録広告データとして登録する。そして、A社には表示優先順位が第1位であることを通知する。

【0030】④第4の段階では、個人Dが情報5の広告表示につき広告掲載料5000円を提示し、情報・広告サーバ1はこの情報5を登録広告データとして登録する。そして、個人Dには表示優先順位が第2位であることを通知する。

【0031】⑤第5の段階では、B社が情報4の広告表示につき広告掲載料15000円を提示し、情報・広告サーバ1はこの情報3を登録広告データとして登録する。そして、B社には表示優先順位が第1位であることを通知すると共に、A社には表示優先順位が第2位に下がったこと、個人Dには表示優先順位が第3位に下がったことをそれぞれ通知する。

【0032】⑥第6の段階では、A社が一旦登録広告データとして登録された情報3の広告表示につき広告掲載料25000円を再提示し、情報・広告サーバ1はこの情報3の登録を再度行う。そして、A社には表示優先順位が第1位に上がったことを通知すると共に、B社には表示優先順位が第2位に下がったことを通知する。

【0033】⑦第7の段階では、C社が情報6の広告表示につき広告掲載料15000円を提示し、情報・広告サーバ1はこの情報6を登録広告データとして登録する。この広告掲載料は既に登録されているB社の情報4と同額であるが、先着者であるB社の方を優遇することとし、B社の表示優先順位第2位の地位をそのまま維持することにする。したがって、C社には表示優先順位が第3位であることを通知すると共に、個人Dには表示優先順位が第4位に下がったことを通知する。

【0034】図4は、上記の最後の第7の段階における表示画面例を示すものであり、2001年〇〇月××日の欄における第1段目には「情報3」が表示され、第2段目には「情報4」が表示されている。そして、情報6については、その題名が左側のアイコンに付されている。

【0035】個人Dの情報5、及び情報・広告サーバ1が作成した情報1、2は右側の「その他の」アイコンをクリックすることにより画面に表示させることができる。図5は、このクリックにより表示される画面であり、上記のように決定された表示優先順位に従って、上から順に情報5、情報1、情報2が表示されている。

【0036】また、各PDAには、各情報の表示優先順位が変更する毎に、その変更した優先順位に対応した位置に各情報の題名が表示されることになる。例えば、図6は、上記の第4の段階の終了時点における表示画面例であり、2001年〇〇月××日の欄における第1段目には、その時点での表示優先順位が第1位である「情報3」が表示され、第2段目には第2位である「情報5」が表示されている。そして、第3位の情報1については、その題名が左側のアイコンに付されており、第4位の情報2については右側の「その他の」アイコンをクリックすれば表示されるようになっている。

【0037】次に、図1の情報・広告サーバ1の一般的な動作を図7のフローチャートに基づき説明する。情報・広告サーバ1は、まず、インターネット7上のWebサーバ8に対して情報収集を行い、収集した情報に基づきPDA2、4に表示すべき情報を作成する（ステップ1）。次いで、情報提供元端末5、6及びその他図示を省略してある他の端末から広告表示の依頼についての新規の申込みが有るか否かにつき判別を行い（ステップ2）、申込みが有る場合には、更に、広告主から広告掲載料の提示が有ったか否かについての判別を行う（ステップ3）。

【0038】ステップ3で広告掲載料の提示が有った場

合、表示優先順位決定手段9は、この新規の広告の広告掲載料と登録済み広告データの広告掲載料との比較に基づき、これらの広告データをソートしてその表示優先順位を決定し、更にその新規の広告データを登録する（ステップ4）。一方、ステップ3で広告掲載料の提示が無かった場合、表示優先順位決定手段9は、この新規の広告データの表示優先順位を広告データ中の中での最下位として、この新規の広告データの登録を行う（ステップ5）。但し、ステップ1で情報・広告サーバ1が作成した情報の表示優先順位よりも上位にランクするものとする。

【0039】ステップ4又はステップ5で表示優先順位決定手段9が新規の広告データの表示優先順位を決定し、その登録を行った後、題名表示個所指定手段10はこの新規の広告データの題名又はアイコンについて、PDAのメニュー画面上における表示個所を指定する（ステップ6）。

【0040】次いで、表示優先順位通知手段11は、この新規の広告データの広告主に対して表示優先順位決定手段9が決定した表示優先順位を通知する（ステップ7）。表示優先順位通知手段11は、更に、登録済み広告データに表示優先順位の変動が有ったか否かを判別し（ステップ8）、有る場合にはその変動後の表示優先順位を登録済み広告データの広告主に通知する（ステップ9）。

【0041】表示優先順位通知手段11が登録済み広告データの広告主に順位を通知した後、あるいは登録済み広告データの広告主に順位変動がなかった場合、情報・広告サーバ1は、登録した情報及び広告データをPDA2、4側へ送信する（ステップ10）。これにより、例えば図4に示したように、各情報の題名又はアイコンが表示優先順位に従って、PDA2、PDA4の画面に表示される。なお、ステップ2において、新規の広告申込みが無い場合には、PDA2、4の画面に表示されるのは、ステップ1で情報・広告サーバ1が作成した情報のみとなる。

【0042】この後、表示優先順位決定手段9は、登録済み広告データの広告主から広告掲載料の再提示があるか否かを判別しており（ステップ11）、再提示が有った場合にはステップ4の表示優先順位の決定を再度やり直す。また、再提示が無ければ、ステップ2に戻って新規の広告申込みが来るのを待機することになる。

【0043】上述したように、図1の情報表示携帯端末システムでは、広告主が提示してきた広告掲載料に基づきメニュー画面上における広告データの題名又はアイコンの表示優先順位が決定され、広告主の意思又は広告意欲が順位の結果として反映されるようになっている。したがって、多くの広告主がその表示優先順位の決定結果に納得すると考えられる。また、広告主は、一旦決定された表示優先順位の結果に不満が有る場合には、広告掲

載料の再提示を行う機会が与えられているので、より高い順位を獲得することも可能である。

【0044】ここで、前述したように、広告主の中には高い表示優先順位を取得することよりも広告掲載料をできるだけ低く抑えることを希望する者もあり、このような広告主の存在を考慮して定額広告データ受付手段13が設けられている。すなわち、このような広告主は、広告掲載料が予め定められた一定額となっている広告申込みを行うことができる。

【0045】但し、このような広告主の広告データは、高い広告掲載料を支払う広告主の広告データと同等に取り扱うわけにはいかず、必ず「その他の」アイコンのグループに組み入れられることになる。更に、「その他の」アイコンのグループの中には、広告掲載料が第2段目に表示される広告データと余り変わらないものが含まれていることもあり、これらとも同等に取り扱うわけにはいかない。したがって、この定額の広告データは、例えば「定額コーナー」のようなタイトルが付されたアイコンのグループに組み入れられ、PDA2、4のユーザは、最初のメニュー画面で「その他の」アイコンをクリックして「定額コーナー」のアイコンを含んだ第2のメニュー画面を表示させ、更にこの第2のメニュー画面で「定額コーナー」のアイコンをクリックして、この定額の広告データの題名を表示させるようにする。つまり、定額の広告データについては、ユーザは最低2回のクリック操作をしなければその題名を画面に表示できないことになる。なお、定額の広告データが複数有る場合に、実際に広告データを見たユーザの数が多いものほどそれらの中での優先順位が高くなるように、登録後の状況変化に応じて順位を調整するようにしてもよい。

【0046】ところで、情報表示携帯端末の中にはユーザの趣味嗜好に応じて画面に表示する情報ある程度取捨選択したり、表示する順番を変えたりする機能すなわち趣味嗜好フィルタリング（Favorite Filtering）機能を有するものがある。このようなフィルタリング機能を有するPDA2、4を用いることにより、画面に表示される広告データの題名やアイコンの表示優先順位をユーザ側である程度調整することが可能である。

【0047】例えば、A、B、C、Dの4名が広告主となった場合の前述の具体的な説明では、最終的な表示優先順位は、「情報3、情報4、情報6、情報5、情報1、情報2」であった。この結果に対して、個人から発信された情報に強い関心を持つユーザが上記のフィルタリング機能をかけたとすると、フィルタリング後の表示優先順位は、「情報5、情報3、情報4、情報6、情報1、情報2」となる。あるいは、A社の情報を拒んでいるユーザであれば、その表示優先順位は、「情報4、情報6、情報5、情報1、情報2、情報3」となる。

【0048】また、A社の情報を余り必要としないユーザの場合には、その表示優先順位は、「情報4、情報

6、情報3、情報5、情報1、情報2、」となり、A社の情報を拒んでいるユーザの場合に比べて情報3の順位が少し下がるだけである。このように、柔軟に優先順位を下げるためには、何らかのパラメータを用いる必要がある。例えば、広告主が提示した広告掲載料により最初の重み値を与え、この重み値からユーザの趣味嗜好情報に決まる値を加減することにより、優先順位を柔軟に変更することができる。

【0049】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、広告主が提示してきた広告掲載料に基づきメニュー画面上における広告データの題名又はアイコンの表示優先順位を決定し、広告主の意思又は広告意欲が順位の結果として反映されるようにしているので、多くの広告主がその表示優先順位の決定結果に納得するシステムを実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に係る情報表示携帯端末システムの概略構成図。

【図2】図1におけるPDA2の外観形状及び表示画面の具体例を示した説明図。

【図3】図2の表示画面中の特定部分をクリックした場合に表示される画面についての説明図。

【図4】本発明の実施形態における広告データの表示優

先順位を決定する際の表示画面例を示す説明図。

【図5】本発明の実施形態における広告データの表示優先順位を決定する際の表示画面例を示す説明図。

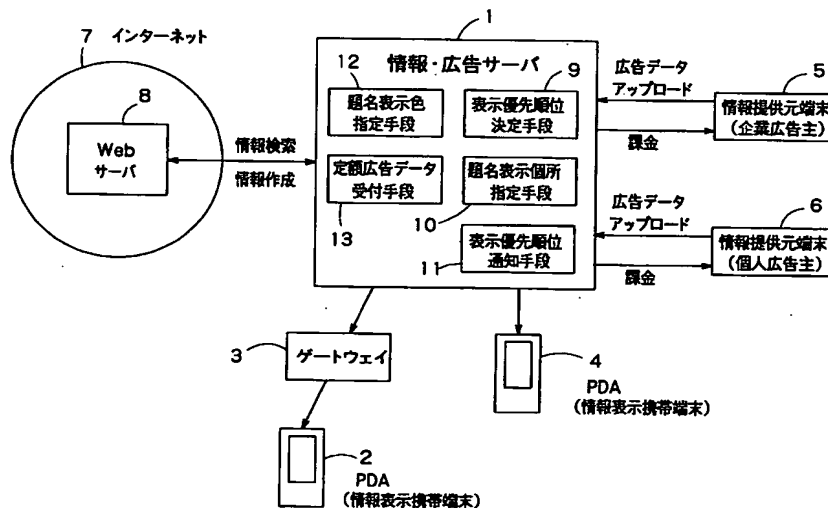
【図6】本発明の実施形態における広告データの表示優先順位を決定する際の表示画面例を示す説明図。

【図7】図1の情報・広告サーバ1の一般的な動作説明するためのフローチャート。

【符号の説明】

- 1 情報・広告サーバ
- 2 PDA
- 3 ゲートウェイ
- 4 PDA
- 5 情報提供元端末
- 6 情報提供元端末
- 7 インターネット
- 8 Webサーバ
- 9 表示優先順位決定手段
- 10 題名表示箇所指定手段
- 11 表示優先順位通知手段
- 12 題名表示色指定手段
- 13 定額広告データ受付手段
- 14 電源ボタン
- 15 決定ボタン
- 16 十字キー

【図1】



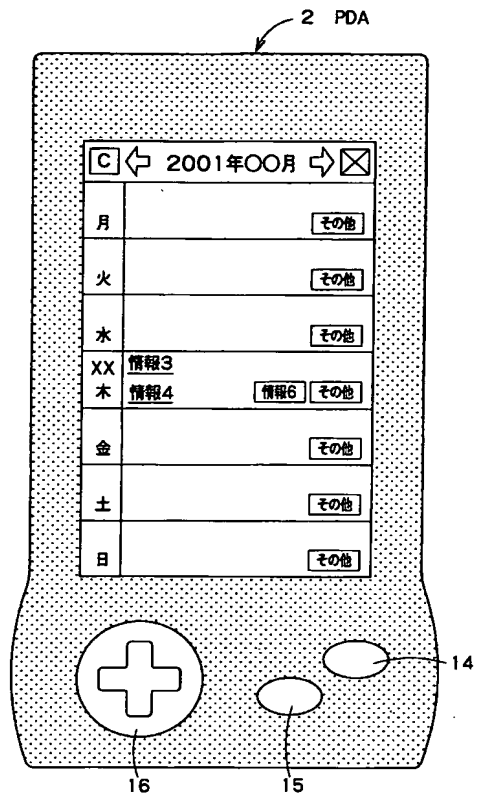
【図2】



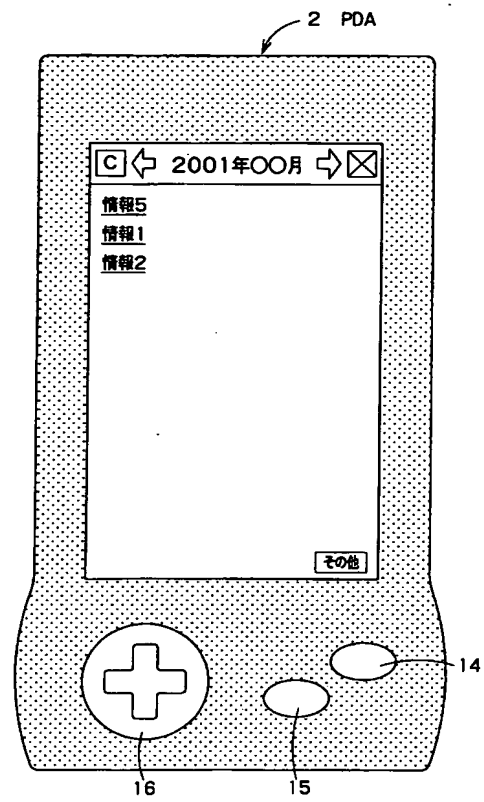
【図3】



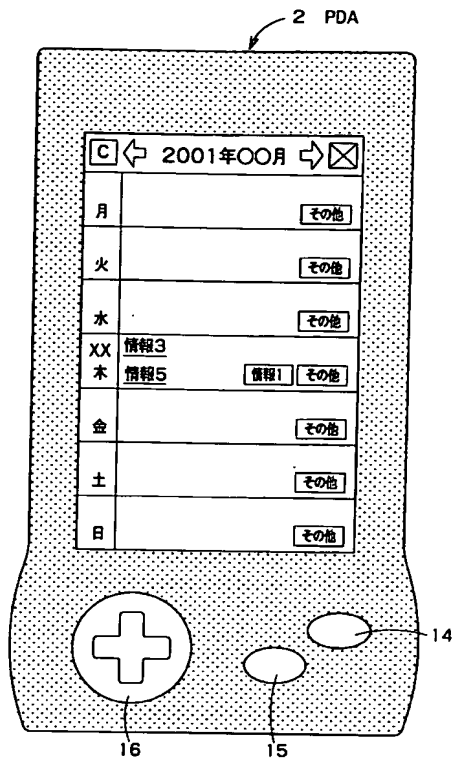
【図4】



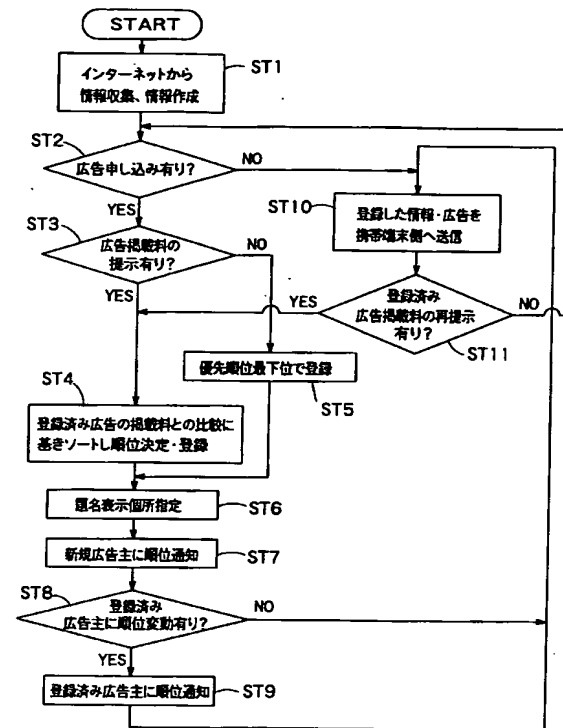
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷ 識別記号
 G 0 6 F 15/00 3 1 0
 17/30 1 1 0
 1 7 0

F I テーマコード (参考)
 G 0 6 F 15/00 3 1 0 R
 17/30 1 1 0 G
 1 7 0 Z

F ターム (参考) 5B075 KK07 KK13 KK33 KK38 ND20
 ND23 PP03 PP13 PP30 PQ02
 PR08 UU40
 5B085 BA07 BC01 BE07 CA02 CA04
 CA07
 5E501 AA04 AB03 AC06 BA03 EA05
 EA11 EB05 FA04 FA22 FB28
 FB43